

昭和32年度岡山県和牛試験場 畜産技術練習生募集要項

一. 目的

畜産技術の指導完璧を期するため真に有畜営農を志す農村中堅青年を対照として実務を主体とした畜産教育を授けるを目的とする。

二. 募集人員 10名

三. 応募資格

次の各号の一に該当するものであって身体強健志操堅実で畜産経営に熱意を持つ者の中より場長が詮衡する。

(一) 新制高等学校又は旧制中等学校の卒業生(昭和32年3月高等学校卒業見込の者を含む)又は之と同等以上の学力があると認められる者

(二) 新制中学校卒業生又は旧制小学校高等科の卒業生で2年以上農業に従事した者

(三) その他場長が適当と認めた者

四. 修業年限 練習生の修業期間は1ヶ年とする。

五. 手続

志願者は(1)入所願(別記様式)(2)履歴書(3)戸籍抄本(4)身体検査所(5)最終学校の成績証明書を添えて場長に提出する。

六. 願書受付期限 昭和32年3月10日迄

七. 受験通知

願書を提出した者には受験通知をする。但し此の通知は受験当日持参すること。

八. 選考期日方法及場所

(一) 期日 昭和32年3月20日午前10時

(二) 方法 一般常識に関する筆記及口述試問

(三) 場所 新見市千屋

岡山県和牛試験場

九. 合格者発表

昭和32年3月23日午前10時当場に公示すると共に本人宛合格通知を発送する。

十. 入所期日

昭和32年4月2日(火曜日)

十一. 入場後の取扱い

(一) 実習科目

各家畜の飼養管理 畜牛の審査法

畜牛の調教削蹄矯角 畜産の加工
和牛の人工授精 飼料作物の栽培
エンシレージの調整 牧野の改良
草生改良

(二) 学科課目

一般畜産学・家畜各論・家畜衛生・獣医汎論・畜産加工・人工授精・畜産関係法規・飼料作物・牧野経営法・農業経営・草地改良・訓育

(三) 経費 本人負担

転出証明持参者

主食 1日4合5勺 月1,200円位

副食費 月800円程度

主食持参者は副食費のみ負担

(四) 手当 練習生手当として月壱千円以内支給

(五) 宿舎 練習生は全部自治寮に共同宿泊する。

(六) 休日 日曜及祭日とする。

十二. 特色

(一) 種畜の育成供給を目途として家畜の飼養管理の合理化と自給飼料の増産利用を図り家畜の保健衛生を確立し生産の普及を図り一般畜産に関する知識及技術を習得し営農の合理性を認識せしめる。特に和牛の調教については当場の特色である。

(二) 練習生終了後2ヶ年の実務の上共済組合技術員の受験資格を有する。

(三) 1ヶ年の練習終了者には修了証書を交付する。

別記様式

入 所 願

私儀

貴場練習生として入所致したいから関係書類を添えてお願いする

昭和32年 月 日

住所

ふりかな

氏名

印

岡山県和牛試験場長

梶並 久雄殿